

## 結核の集団感染について

平成28年7月に松戸保健所に登録された結核患者（20歳代・女性）を初発として、初発患者の家族、受診した医療機関、勤務する松戸市内の遊技場で結核の集団感染が起きたことが、松戸保健所の調査で判明しましたので、県民の皆様  
に注意喚起を図るため公表します。

これまでに発病者が3名（初発患者を除く）確認されましたが、全員適切な治療を受けており、現在、排菌していません。また、この他、感染者が2名確認されています。

(経緯)

平成28年

- 5月、6月、7月 呼吸器症状、体重減少を呈し、医療機関Aを受診した。
- 7月25日 医療機関Aの紹介により医療機関Bを受診し、結核と診断され、松戸保健所に発生届があった。
- 8月12日 初発患者の家族の接触者健康診断で1名の感染が確認された。
- 9月30日～
- 10月14日 初発患者が勤務する遊技場の接触者健康診断で職員3名の発病が確認された。
- 11月 2日 医療機関Aの接触者健康診断で職員1名の感染が確認された。
- 11月22日 本県から結核の集団感染事例として厚生労働省に報告した。

(今後の対応)

- ・治療が必要な者に対して、治療が終了するまで服薬支援を実施する。
- ・接触者健康診断対象者に対して、2年間定期的に健康診断を実施する。
- ・県内の遊技場に対して、ポスター等を配布し予防啓発を行う。
- ・県内の医療従事者に対して、適切に結核を診断できるよう結核専門医による研修会を開催する。

<参考> 千葉県の結核患者（新規登録）数と集団感染事例の発生状況

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
結核患者（新規登録）数	888	921	876	878	734
集団感染事例件数	2	6	1	0	7

※平成28年の結核患者（新規登録）数は10月末までの速報値

※集団感染事例数は、千葉市、船橋市、柏市を含む

※平成28年の集団感染事例件数は本件を含む

【県民の皆様へ】

- ・結核の初期症状は、風邪の症状とよく似ています。  
2週間以上咳が続くようでしたら、必ず医療機関を受診しましょう。
- ・市町村で行っている住民健診対象の方又は職場等での健康診断対象の方は、進んで健康診断を受け、早期発見に努めましょう。
- ・健康診断で異常を指摘された場合は、速やかに専門の医療機関を受診しましょう。

## 【参考】

### 結核（二類感染症）

#### 1 結核とは

結核菌によって主に肺に炎症を起こす病気です。

肺以外では、咽頭、喉頭、気管・気管支、胸膜、リンパ節、脊椎、その他の骨・関節、腎・尿路生殖器、中枢神経系に炎症を起こします。

#### 2 肺結核の症状

肺結核の初期は、咳、痰、発熱(多くの場合は38℃以下)症状が、2週間以上続きます。

その後、軽快、悪化を繰り返しつつ徐々に進行し、全身倦怠感、血痰、喀血、呼吸困難などの症状が出ます。

#### 3 感染経路

主に、結核菌を排出している結核患者(肺、咽頭・喉頭又は気管・気管支結核)が、咳やくしゃみをした時、飛散する結核菌を含んだ飛沫を吸い込むことで感染します。

#### 4 潜伏期間

結核菌は、感染しても増殖速度が遅く(1個の結核菌が2個に増えるのに15時間かかります。大腸菌では20分)、QFT検査が陽性になるまでには、2から3か月程度かかります。

発病までは、早くて6か月かかります。

感染者の10～20%が発病し、発病する者の50%は感染後2年以内に発病すると言われています。

#### 5 結核の現状

昭和20年代までは、大勢の命が奪われる国民病として恐れられていました。

現在では、生活水準の向上や生活様式の変化、BCG接種の普及、健康診断の実施や抗結核薬の開発により、急激に減少していますが、いまだに全国で年間約2万人の結核患者が出ています。

#### (注)

感 染 者：無症状で、ツベルクリン反応検査やQFT等検査で陽性となった者  
結核菌は、排菌していない。

発 病 者：結核の症状を呈し、画像検査等により結核の所見が認められた者

結核集団感染：同一の感染源が、2家族以上にまたがり、20人以上に結核を感染させた場合を言う。

ただし、発病者1人は6人が感染したものとして感染者数を計算する。

【「結核に係る感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第17条に規定する健康診断の取扱いについて」(平成19年3月29日感発第0329002号厚生労働省健康局結核感染症課長通知)】